

平成 29 年度図書館協議会概要

日 時 平成 29 年 6 月 21 日 (水)
午後 2 時から午後 3 時 30 分
場 所 戸倉庁舎 4 階 第 2 会議室

1. 開 会 (生涯学習課長)
委員への任命書の交付 (赤地教育長)
2. 教育長あいさつ (赤地教育長)
3. 自己紹介
4. 正副会長の選出について 会長は山根義夫校長、副会長は跡部夢美司書を選出
5. 協議事項
 - (1) 千曲市立図書館の概要について
 - (2) 平成 28 年度事業報告について
 - (3) 平成 29 年度事業計画について
 - (4) 図書館運営についての意見交換

委員から出された主な質問及び意見	市 (事務局) の説明及び回答
<p>○戸倉図書館の除籍の報告があったが、戸倉図書館は平成 5 年の開館当初に多くの町民から寄贈を受けた。その寄贈本も除籍対象としているのか。どのように除籍決定をしているのか。</p> <p>○除籍をした後、同じ本を買うことはしないのか。読み繋がれている本も沢山あると思うが、補充しているのか。</p> <p>○本の破損とか紛失の状況はどうか。</p> <p>○最近、郷土資料の学校沿革史等の切り抜き被害が報道されているが、千曲市の図書館ではどうだったか。</p> <p>○平成 29 年度事業計画に「どくしょ手帳」の配</p>	<p>○除籍基準では 20 年経過した本は除籍の対象としてよいことになっています。戸倉図書館は平成 25 年で 20 年経過しましたので、平成 26 年度から書庫等の整備を始めました。寄贈を受けた本、郷土資料、全集等は除籍しないよう気を付けています。複本や千曲市の他図書館で所蔵している本を中心に除籍しています。利用が可能な絵本、児童書等は保育園、学校に照会した後、リサイクル市で市民に提供しています。20 年経ったからといって全て除籍している訳ではなく、戸倉図書館の司書が慎重に選んで除籍をしています。</p> <p>○読み繋がれている良い本は、積極的に補充しています。</p> <p>○本の破損は沢山あります。利用者に気を付けるよう促しています。また、修理ができない本は弁償とさせてもらっています。紛失は、蔵書点検を行うと各館 100 冊弱ほど不明がでてしまいます。その後調査期間を経て 4 年目の最終除籍する時には、20～30 冊の不明本がでてしまいます。紛失に関しては、カウンターで職員が注意深く見っていますが、なかなか減ってこない状況です。</p> <p>○千曲市の図書館では切取られた資料は確認できませんでした。</p> <p>○「どくしょ手帳」は図書館職員が手作りしました。</p>

布とあるが、どんなもので、どのような子どもたちに配ったのか。

○4月23日は世界中の子ども読書の日になっている。子ども読書の日をPRをもっとした方がいい。

○本のコピーを有料で行っているが、著作権の問題点は無いのか。

個人の閲覧履歴が残っていると思うが、仮に警察等で提供してほしいと言われた場合、千曲市図書館ではどう対応されるのか。

○図書館のコピーは著作権法にふれるということか。著作権は何年か経過すると切れるのではないのか。

○引っ越してきたばかりで図書館の場所や借り方がわからなかった。図書館の情報がもっとほしい。

○園児の図書館訪問で保育園児に読み聞かせをする場に居合わせたか、小さい時から本や図書館に触れる機会があることは素晴らしいと感じた。図書館に足を運ぶ機会を持つよう呼びかけていくことも大事だと感じた。自分も周りの人に図書館に足を運ぶよう呼びかけたいと思う。

○本を寄贈したい場合についてお聞きしたい。

A4の半分位の大きさで、自分で書き込むものです。更埴では130冊、戸倉では50冊、更埴西では50冊ほど配りました。子どもを対象にしましたが、大人でもほしい方がいればさしあげました。子どもたちには読書意欲がわくよう楽しみに使って貰えたらいいと思い、50冊読んだら手作りの葉を、100冊達成したら手作りのおもちやのようなものをあげて、「よく読んだね、頑張ったね」と声をかけることもしております。

○今後、周知できるよう頑張ってみます。

○本のコピーの件ですが、日々、図書館職員は著作権に悩まされております。図書館での著作権は非常に複雑で難しいものです。図書館でコピーできるのは1作品の半分までとなっています。住宅地図も見開きの半分までとなっており、市民に理解してもらえない場合もあります。雑誌、新聞の最新号もコピーできないものです。図書館職員も更に勉強していかなくてはならないと思っております。

閲覧履歴が残っている件ですが、職員も履歴は見ることはできないし、今のところ当事者も見ることにはできないことになっています。警察への提供ですが、個人のプライバシーに関することですので、図書館から閲覧履歴は提供できないことになっています。新しい図書館システムにすると、個人のパスワードで自分の読書履歴は見るようになることなのですが、現在の千曲市の図書館システムでは見ることはできません。

○著作権者が亡くなってから50年過ぎると切れます。

○周知するよう努力します。

○図書館の蔵書とするかしないかの判断を任せても

<p>○学校図書館と公共図書館の連携で、公共図書館から学校にしてほしい提案のようなものはあるか。</p>	<p>らえる場合に限りお受けしています。積極的に募集し、受け入れることはしていません。図書館の蔵書としないと判断したものは、図書館まつりの古書市に出してもいいでしょうかとお聞きし、良いと返事を頂いたものはお受けしています。百科事典のようなものはお断りしていますが、郷土資料は積極的にお受けしています。</p> <p>○学校との連携はなかなか難しいと思っています。ブックネットちくまで繋がっていますので、市立図書館の本を有意義に活用して頂けたらと思います。</p>
--	---

6. その他

・千曲市セカンドブック事業について

<p>○この事業の予算は。</p> <p>○意見なし</p>	<p>○セカンドブック事業参考資料のスケジュールに「選定20冊」について図書館協議会で報告、意見を求めるとあります。別紙「選定20冊」選書までの主な経過をご覧ください。各図書館、各小学校に推薦本の依頼をし、約60冊が推薦されました。推薦された60冊から、公立図書館司書による選定委員会で22冊が選定されました。選定に当たっては、選定基準に基づき、更に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長い間読み継がれており、あまり保育園や家庭で目にすることがなく読んでほしいもの ・比較的新しい本の中で、今後読み継がれていくと考えられるもの ・家族で楽しめる内容のもの ・日本の昔話、世界のおはなし ・動物や植物に関係したもの ・装丁がしっかりしたもの <p>等を考慮し、慎重に選定しました。読書アドバイザーの小林いせ子さんにも相談し、指導していただきました。本日は実物を用意していますので、手に取ってご覧ください。</p> <p>○ご意見等お聞かせください。</p> <p>○778千円です。</p> <p>○他にご意見はありませんか。</p> <p>○ありがとうございました。</p>
--------------------------------	--